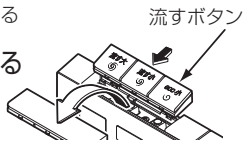


施工手順 6 試運転をする

施工全タイプ共通

ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込んだ後、次の項目を確認し、□にチェックを行ってください。

- 1** ロータンクの止水栓を開ける
- 2** 手で便器洗浄を確認する
 ハンドルを「大側」「小側」に回して、便器洗浄を行うことを確認する
- 3** リモコンに流すボタンが取り付けられているか確認する
 流すボタンの取付方法は流すボタン取付説明書を参照ください。
- 4** リモコンで便器洗浄を確認する
 「大」「小」「eco小」のボタンを押して、便器洗浄を行うことを確認する
 ※連続して押すと作動しません。約10秒たってからもう一度ボタンを押してください。
 - [大] → ハンドルが大側に回転する
 - [小] → ハンドルが小側に回転する
 - [eco小] → ハンドルが小側に回転し約3秒間停止後戻る **重要**



便器洗浄が正しく行われないときは、下記「うまく動かないとき」をご覧ください。

試運転が終わりましたら、ウォシュレット本体の施工説明書に従って試運転を行ってください。

うまく動かないとき

洗浄が正しく行われないときは、まずこのページの処置方法を試してください。それでも直らないときは、もう一度「施工の流れ」(P.2)を最初から確認してください。

こんなときは		ご確認ください	処置方法
流すボタンがない		●リモコンに流すボタンを取り付けていますか？	リモコンに流すボタンを正しく取り付ける
作動しない	モーター音がしない	●便器洗浄ユニットのプラグが、ウォシュレットの接続口の根元まで確実に差し込まれていますか？	プラグを根元まで確実に押し込み、キャップを取り付ける
		●ウォシュレット本体の電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	ウォシュレット本体の電源プラグをコンセントに差し込む
		●リモコンに電池は入っていますか？	リモコンに電池を正しく入れる
流れない	モーター音はする	●ストッパーの取付方向をまちがっていませんか？	ストッパーを正しく取り付ける
「大」「小」の動作が逆		●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす
「eco小」洗浄しない		●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす

TOTO 株式会社

TOTO ホームページ <https://jp.toto.com>

2020.10.30
D07124RR

TOTO

施工業者様向け

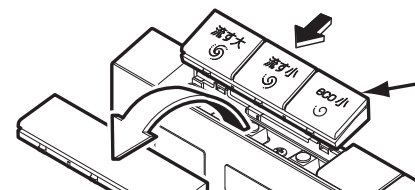
便器洗浄ユニット施工説明書

ウォシュレット専用 (4.8L 密結便器用)

- 住宅用システムトイレ (レストパルなど) の取り付け方法については、住宅用システムトイレの施工説明書をご確認ください。

重要

リモコンには流すボタンが取り付けいていません。
必ず取り付けてください。



流すボタン
(ウォシュレット専用
便器洗浄ユニットに同梱)

施工タイプ 2 種類から必ず 1 つ選択してください。

- 「施工の流れ」(2 ページ) を必ずご確認ください。

機種によって、便器洗浄ユニットのプラグ接続口の位置が異なります。

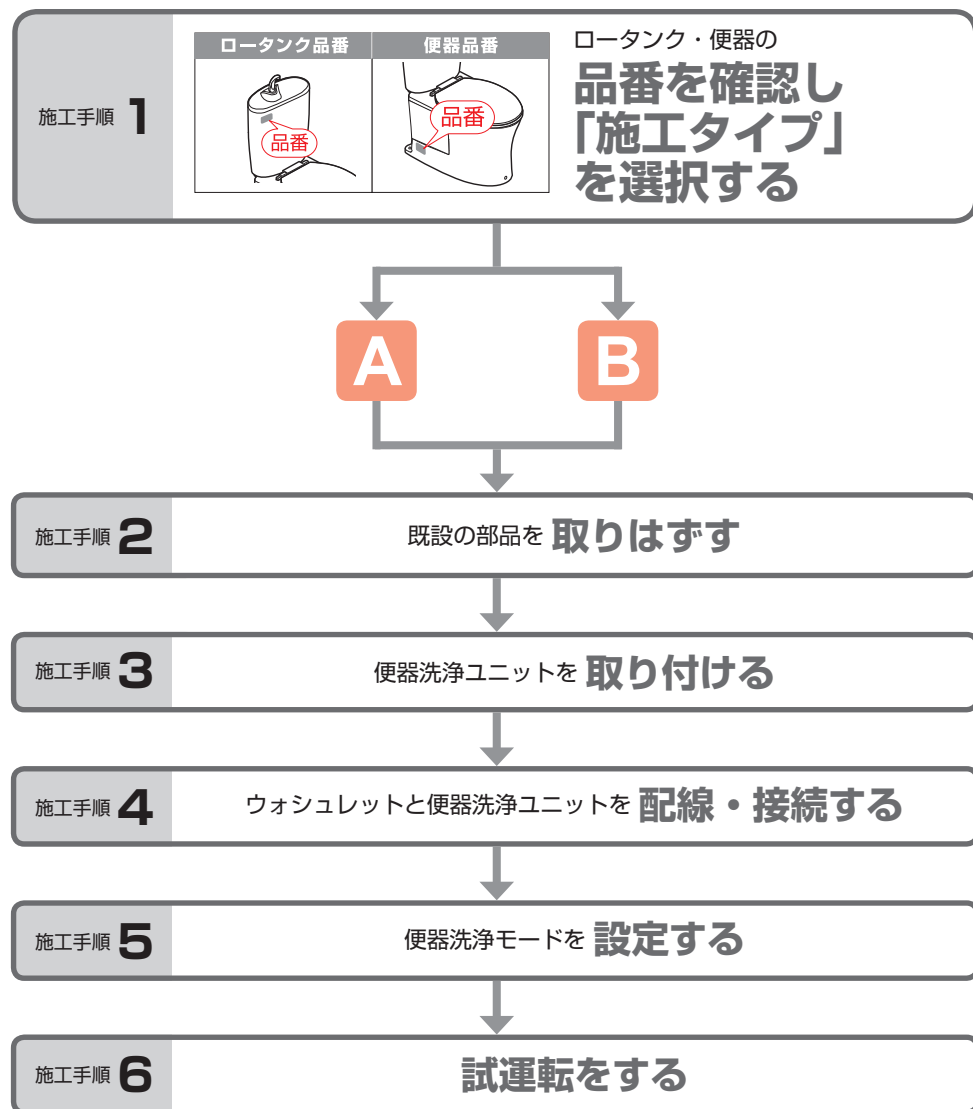
- 施工手順 4: 「ウォシュレットと便器洗浄ユニットを 配線・接続する」を必ずご確認ください。

便器洗浄モードの設定を必ず行ってください。

- 施工手順 5: 「便器洗浄モードを設定する」を必ずご確認ください。

施工の流れ

ロータンクによって、施工タイプは2種類に分かれます。
施工タイプに合った施工方法と部品で、正しく施工してください。



施工手順 1 「施工タイプ」を選択する

ロータンク・便器一覧表

ロータンク品番	便器品番	施工タイプ
SH596B 系※1 SH597B 系※1 SH598B 系※1 SH599B 系※1 SH400B 系 SH401B 系 SH332B 系 SH333B 系 SH334B 系 SH335B 系 SH330B 系 SH331B 系 SH320B 系 SH321B 系 SH230B 系 SH231B 系 SH232B 系 SH233B 系 SH220B 系 SH221B 系 SH214BA 系 SH215BA 系	CS597 系※1 CS400B 系 CS330 系 CS320 系 CS325 系 CS232B 系 CS230 系 CS220 系 CS215 系	A (P.4 へ)
SH214BAJ 系 SH215BAJ 系	CS215 系	B (P.5 へ)

●住宅用システムトイレ（レストパルなど）の取り付け方法については、住宅用システムトイレの施工説明書をご確認ください。

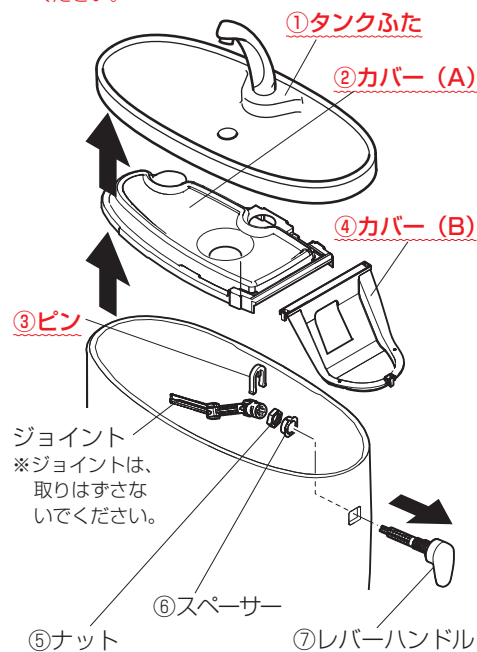
※1 ウォシュレット品番 TCF8****系は、対象外です。

施工タイプ **A** のとき

- 1 止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜く
- 2 部品を取りはずす
(下記参照)

ご注意
機種によって、ロータンクと部品の形状が異なります。

●①～④の部品は、取り付け時に
使用しますので、捨てないで
ください。



<タンクふた固定仕様の場合>
タンクふたを取りはずす前に六角穴付きボルトをゆるめ、上ふた固定板のロックをはずす必要があります。

① 六角穴付きボルトを左に回し、ゆるめる

使用工具
六角棒スパナ (呼径4)
※機種によってロータンクの形状が異なります。

六角棒スパナ
長いほうを手で持つ

六角穴付きボルトのゆるめ量

ボルトガイド スリップワッシャー
六角穴付きボルト ねじ山

(固定時) (ゆるめ時)

<ゆるめ量目安>
六角穴付きボルトのねじ山がボルトガイドから見えるくらいを目安とする

② 六角穴付きボルトをボルトガイドに押し付け、タンクふたを垂直に持ち上げ、はずす

ボルトガイド 六角穴付きボルト
押し付ける

便器洗浄ユニットを取り付ける

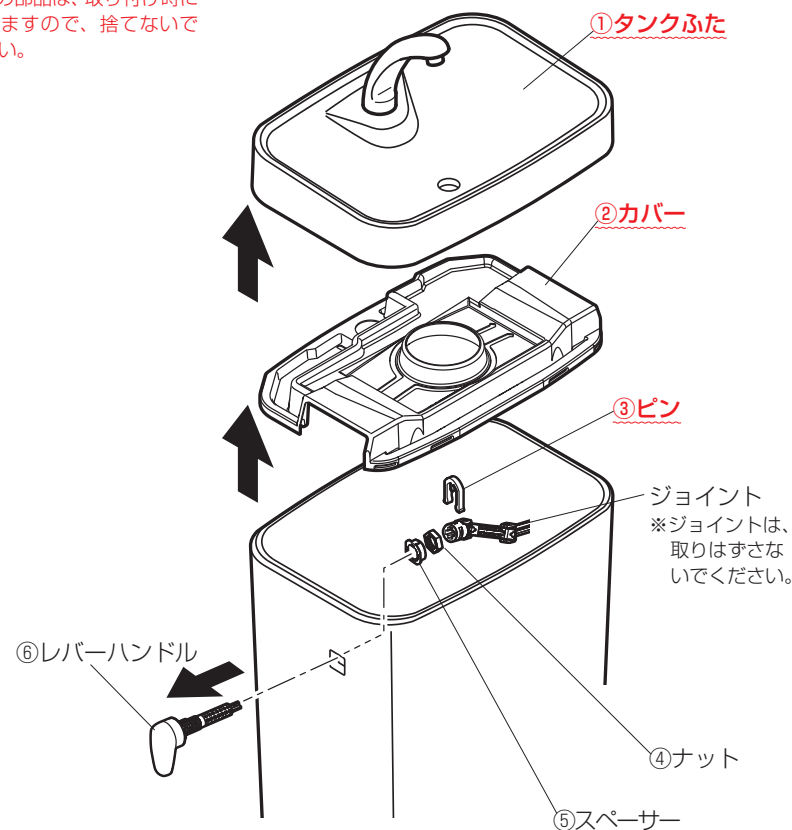
施工タイプ **A** は P.6 へ

施工タイプ **B** のとき

- 1 止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜く
- 2 部品を取りはずす
(下記参照)

ご注意
機種によって、ロータンクと部品の形状が異なります。

●①～③の部品は、取り付け時に
使用しますので、捨てないで
ください。



便器洗浄ユニットを取り付ける

施工タイプ **B** は P.10 へ

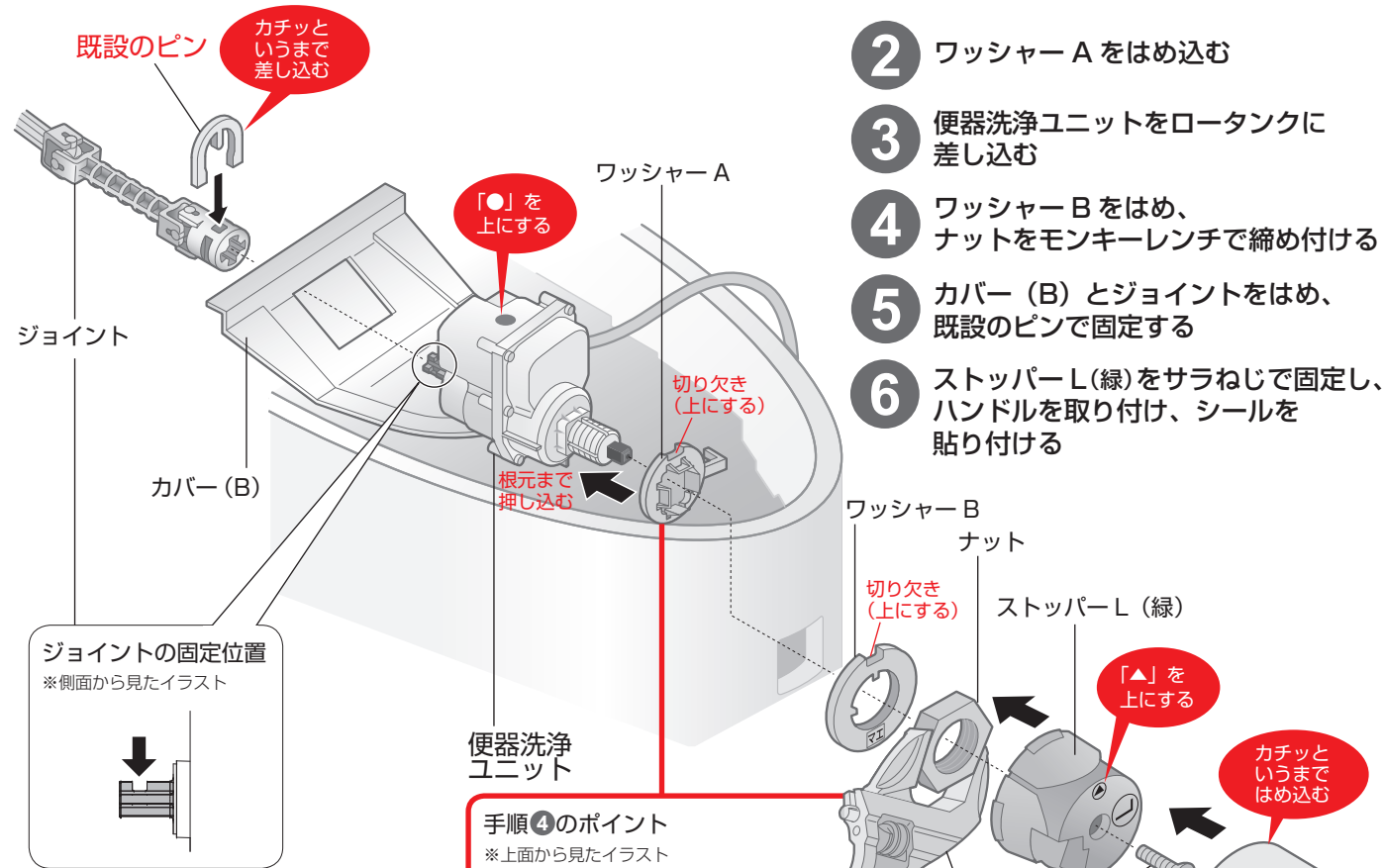
1 部品を選択する

使用部品

透明袋

既設部品

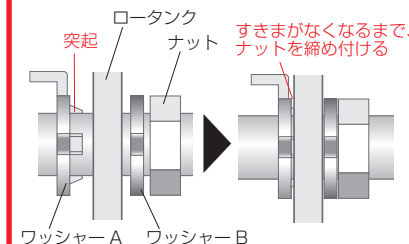
既設のピン
既設のものを使用します。
捨てないでください。



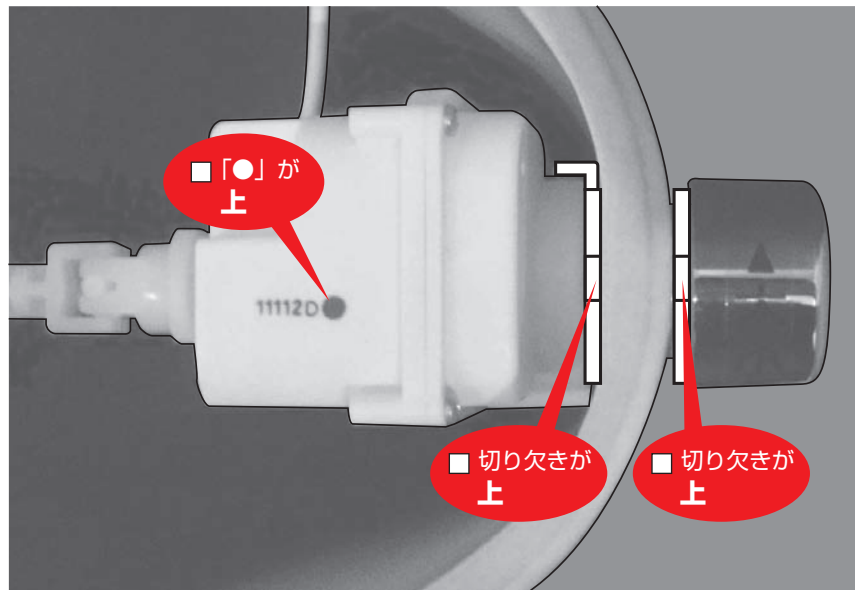
- 2 ワッシャー A をはめ込む
- 3 便器洗浄ユニットをロータンクに 差し込む
- 4 ワッシャー B をはめ、 ナットをモンキーレンチで締め付ける
- 5 カバー (B) とジョイントをはめ、 既設のピンで固定する
- 6 ストッパー L (緑) をサラねじで固定し、 ハンドルを取り付け、シールを 貼り付ける

手順④のポイント
※上面から見たイラスト

ご注意
ワッシャー A の突起がつぶれて
ロータンクとのすき間がなくなるまで
締める

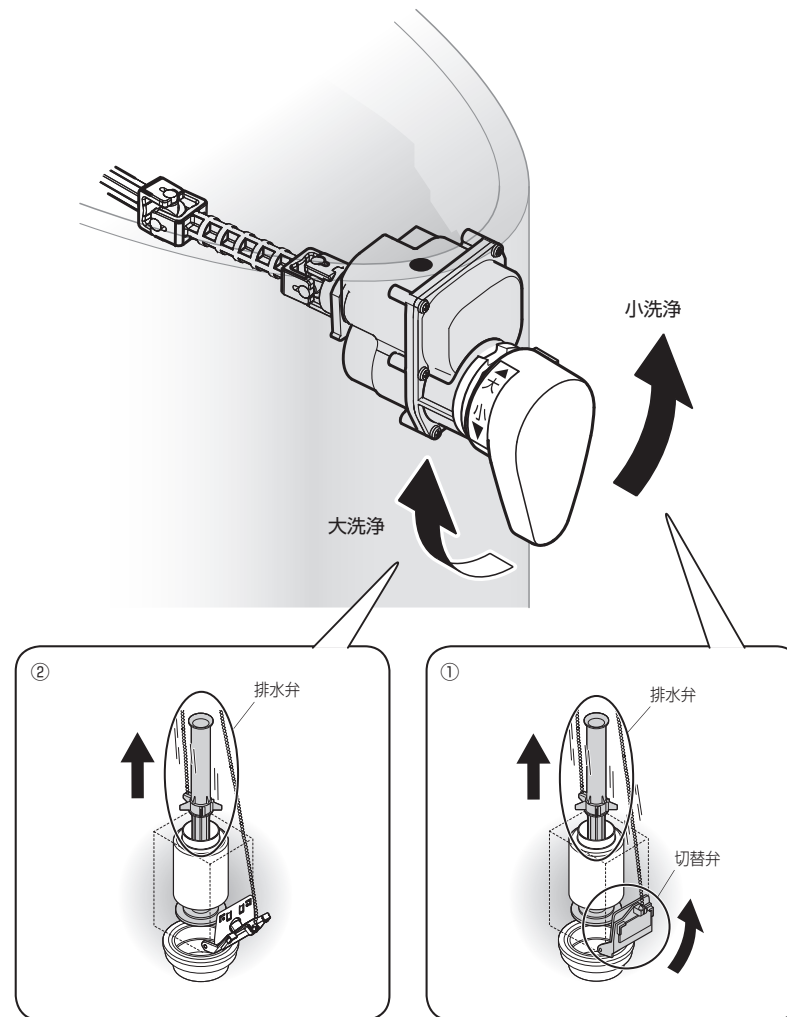


7 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する
・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



8 ハンドルを動かして確認する

- ① 排水弁と切替弁が引き上がる
- ② 排水弁だけが引き上がる



1 部品を選択する

使用部品

ワッシャーA ワッシャーB ナット

ハンドル シール

サラねじ (ストッパー用φ3×10) ストッパーL(緑)

サンドペーパー コードフック(7個)

既設部品

既設のピン

既設のものを使用します。捨てないでください。

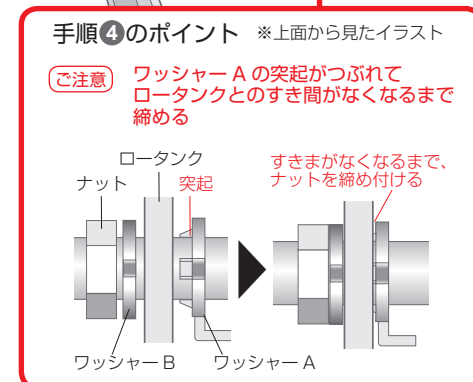
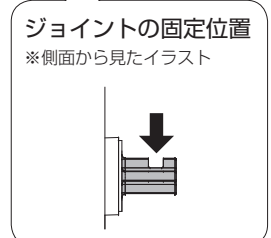
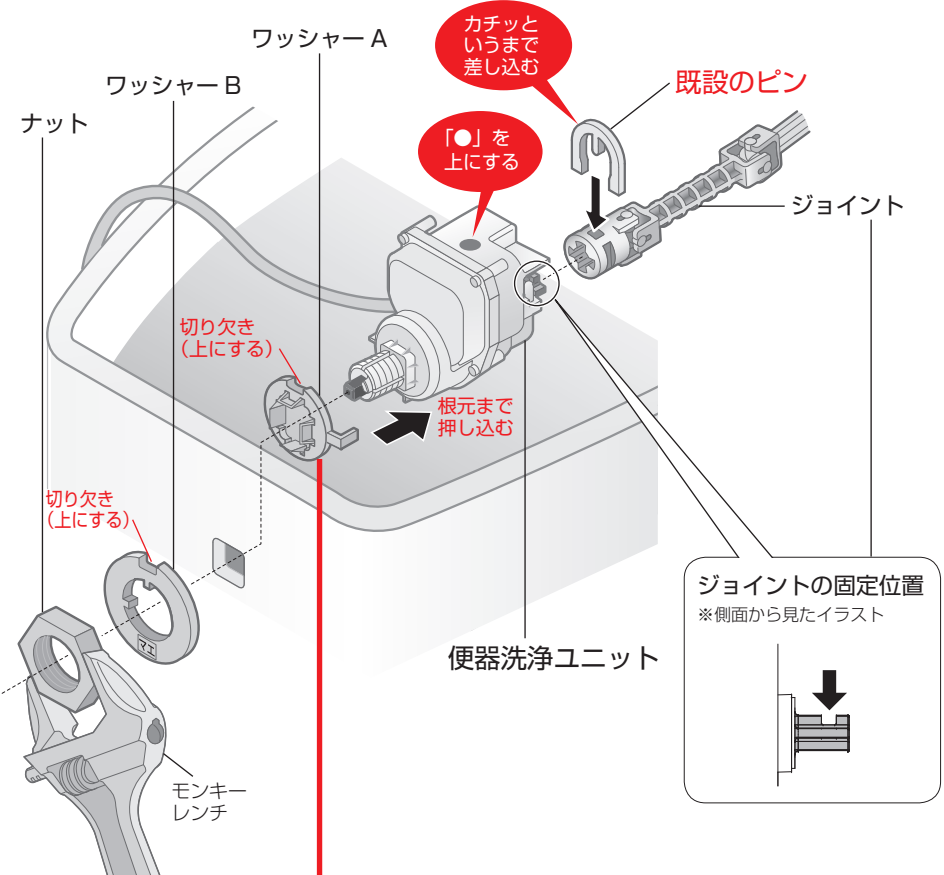
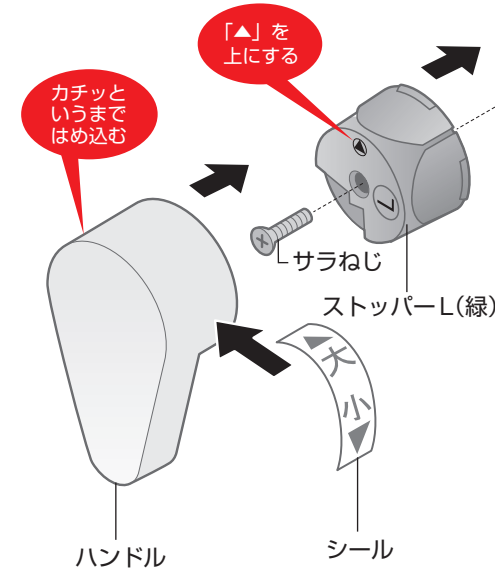
2 ワッシャー A をはめ込む

3 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む

4 ワッシャー B をはめ、ナットをモンキーレンチで締め付ける

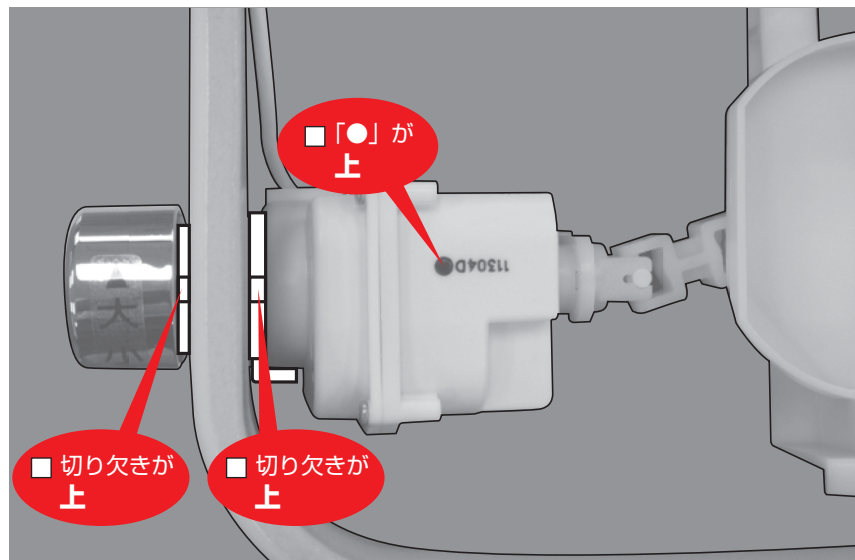
5 ジョイントをはめ、既設のピンで固定する

6 ストッパーL(緑)をサラねじで固定し、ハンドルを取り付け、シールを貼り付ける



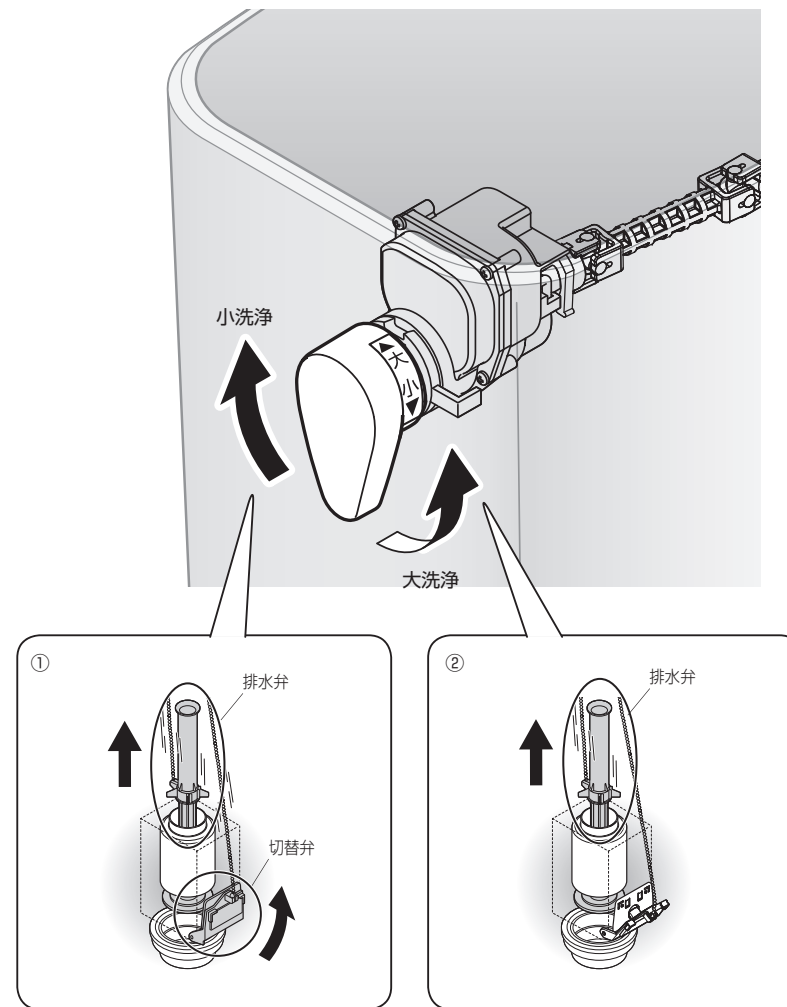
7 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



8 ハンドルを動かして確認する

- ① 排水弁と切替弁が引き上がる
- ② 排水弁だけが引き上がる

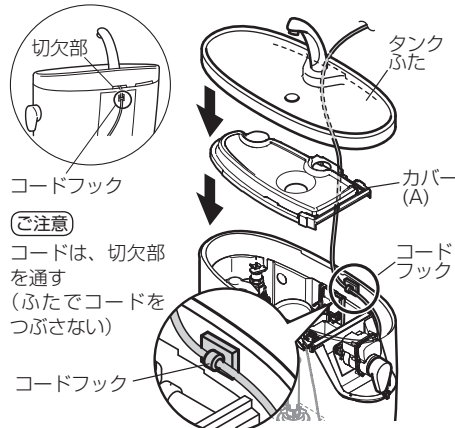


施工手順 4 ウォシュレットと便器洗浄ユニットを配線・接続する

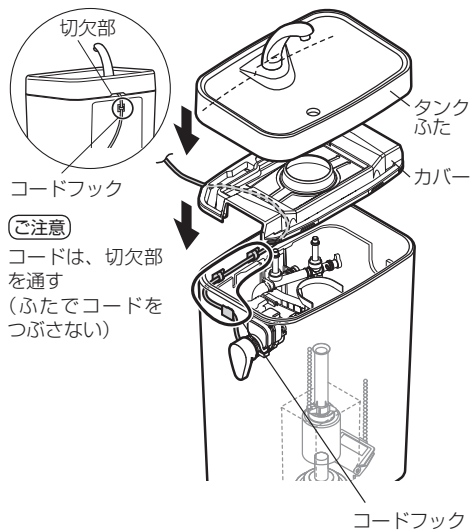
コードを配線する

施工タイプ **A**

- 1 コードフックの貼り付け位置を決める (水がかからない位置にする)
- 2 ①で決めた貼り付け位置の表面をサンドペーパーでこする (こすった後の粉をとる)
- 3 コードフックを貼り付ける
- 4 コードを配線する
- 5 カバー、タンクふたを取り付ける

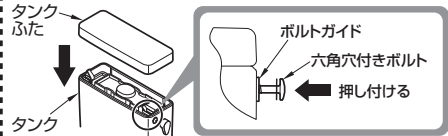


施工タイプ **B**



〈タンクふた固定仕様の場合〉

- ① 六角穴付きボルトをボルトガイドに押しつけ、タンクふたを載せる



- ② 六角穴付きボルトを締め付け、タンクふたに固定する



△注意

ねじの締め込み過ぎに注意する
締め込み過ぎると、ロータンクやボルトが破損し、けがをすることがあります。
必ず実行

【注意】
ボルトの締め付けは、両側均一になるように締め付けてください。片側だけを締め付けるとタンクふたがズれるおそれがあります。

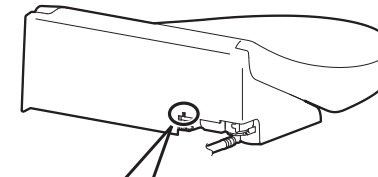
プラグを接続する

- 6 ウォシュレット本体を施工する (ウォシュレット本体の施工説明書参照)

重要
手順 7 以降は、ウォシュレット本体施工後に行ってください。

- 7 プラグ (便器洗浄ユニット) を接続する
コードは、ウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。
(機種によって、製品の形状が異なります。)

プラグ接続口を確認してください。
(機種によって、接続方法が異なります。)



ウォシュレット本体の背面の凸形状を確認



凸形状がある場合

凸形状がない場合

P.16へ

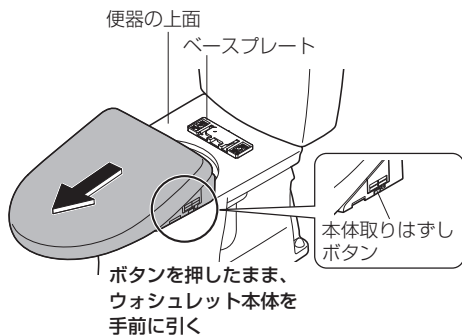
P.17へ

配線・接続する

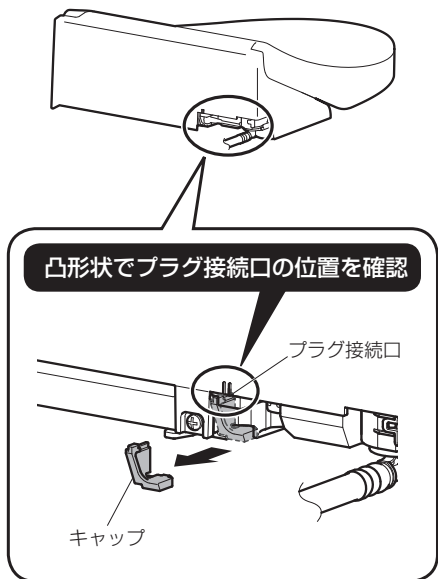
プラグを接続する

ウォシュレット本体の背面に凸形状がある場合

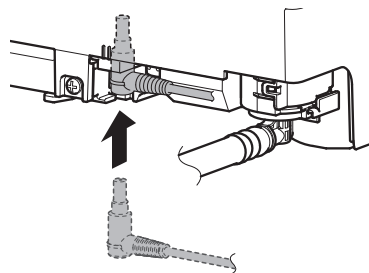
① ①ドライバーなどでボタンを押したままウォシュレット本体を手前に引く



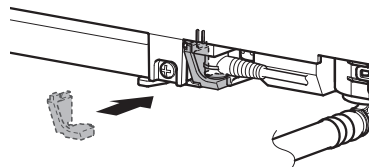
② ウォシュレット本体の背面にあるキャップを取りはずす



③ プラグを根元まで確実に差し込む



④ キャップを取り付ける



⑤ ウォシュレット本体を取り付ける

※手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

8 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

必ず便器洗浄モードを設定してください
リモコンによって、設定方法が異なります。

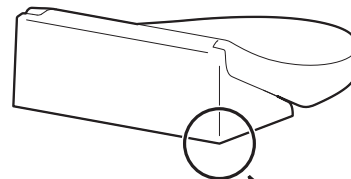
の場合は P.18 へ

で

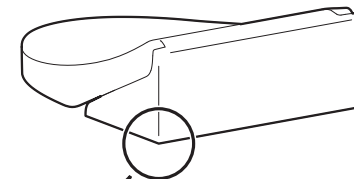
ウォシュレット品番
TCF6***系の場合は P.20 へ (品番)
TCF8***系の場合は P.22 へ

ウォシュレット本体の背面に凸形状がない場合

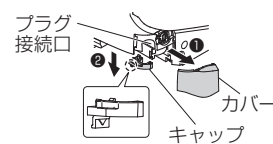
左右どちらかのプラグ接続口にプラグを取り付けてください。



プラグ接続口を確認



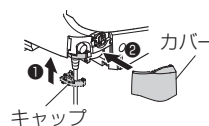
① キャップを取りはずす



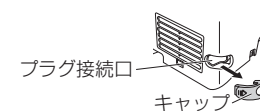
② プラグを根元まで確実に差し込む



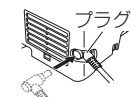
③ キャップとカバーを取り付ける



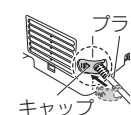
① キャップを取りはずす



② プラグを横向きに根元まで確実に差し込む



③ キャップを取り付ける



8 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

必ず便器洗浄モードを設定してください
リモコンによって、設定方法が異なります。

の場合は P.18 へ

ウォシュレット品番
TCF6***系の場合は P.20 へ (品番)
TCF8***系の場合は P.22 へ

施工手順 5 便器洗浄モードを設定する

の場合

1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

→ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

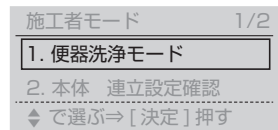
2 流すボタンを取り付ける
(流すボタン取付説明書参照)

重要
リモコンには流すボタンが取り付けていません。必ず取り付けてください。

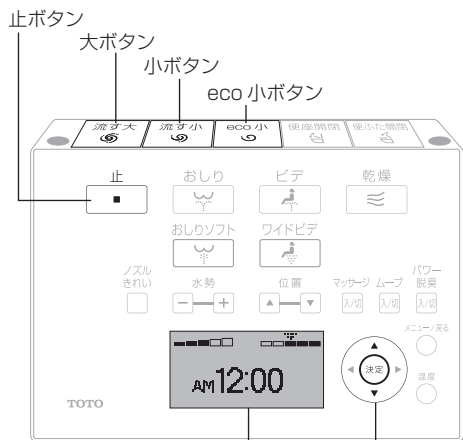
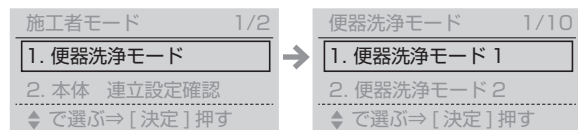


3 止 10秒以上押す

→リモコン表示部が下図のようになります。



4 上下方向キーで「便器洗浄モード」を選び決定を押す



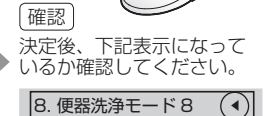
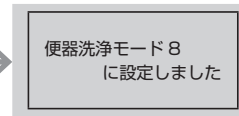
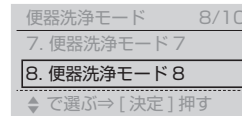
リモコン表示部 選択/決定ボタン

機種によっては、ボタンのレイアウトなどが異なります。

施工タイプ

A

5 上下方向キーで「便器洗浄モード8」を選び決定を押す
→ウォシュレット本体から電子音が1回鳴る



確認
決定後、下記表示になっているか確認してください。

◀が表示されます。

6 止 押す → 設定完了

7 動作を確認する

※連続して押すと作動しません。約10秒たってからもう一度ボタンを押してください。

- [大] → ハンドルが大側に回転する
- [小] → ハンドルが小側に回転する
- [eco小] → ハンドルが小側に回転し約3秒間停止後戻る

■正しく作動しない場合は、再度手順④から設定してください。

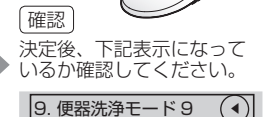
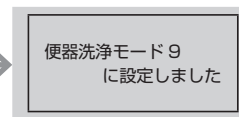
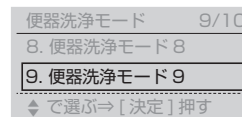
重要

試運転をする
裏表紙へ

施工タイプ

B

5 上下方向キーで「便器洗浄モード9」を選び決定を押す
→ウォシュレット本体から電子音が1回鳴る



確認
決定後、下記表示になっているか確認してください。

◀が表示されます。

6 止 押す → 設定完了

7 動作を確認する

※連続して押すと作動しません。約10秒たってからもう一度ボタンを押してください。

- [大] → ハンドルが大側に回転する
- [小] → ハンドルが小側に回転する
- [eco小] → ハンドルが小側に回転し約3秒間停止後戻る

■正しく作動しない場合は、再度手順④から設定してください。

重要

試運転をする
裏表紙へ

で注意

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。
(ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

施工手順 5 便器洗浄モードを設定する

TCF
で6***系の場合

ご注意
モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。
(ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む
→ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

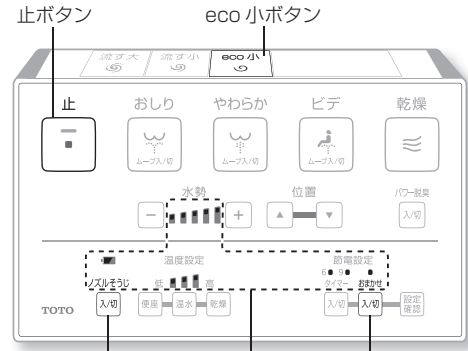
2 流すボタンを取り付ける
(流すボタン取付説明書参照)

重要
リモコンには流すボタンが取り付いていません。
必ず取り付けてください。



3 止 10秒以上押す
→リモコンのランプが全点滅します。

施工タイプ A	4 eco小 5秒以上押す	ビーツ、ビーツ 本体表示部 <便座> 2回点滅
施工タイプ B	4 eco小 5秒以上押す もう一度 eco小 5秒以上押す	ビーツ、ビーツ、ビーツ、ビーツ 本体表示部 <便座> 3回点滅



ノズルそうじボタン すべて点滅 おまかせ節電ボタン
機種によっては、本体表示部やボタンのレイアウトなどが異なります。

施工全タイプ共通

5 おまかせ入切 と ノズルそうじ入切 同時に押す → (電子音が鳴ると同時に本体表示部(便座)ランプが点滅することを確認する (電子音: Aは2回、Bは3回))

電子音とランプの点滅が上記でなかった場合は、設定が正しくできていません。
手順④に戻り、設定しなおしてください。

手順④をくり返すたびにモードが切り替わる

「ビーツ」 本体表示部が全ランプ1回点滅 出荷時のモード	→	「ビーツ、ビーツ」 表示部が2回点滅 A の場合 このモードに設定する	→	「ビーツ、ビーツ、ビーツ」 表示部が3回点滅 B の場合 このモードに設定する	→	「ビーツ、ビーツ、ビーツ、ビーツ」 表示部が4回点滅 使用しません
------------------------------------	---	---	---	---	---	---

6 止 押す → 設定完了

試運転をする
裏表紙へ

施工手順 5 便器洗浄モードを設定する

TCF
で8****系の場合

ご注意
モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。
(ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

→ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

2 流すボタンを取り付ける
(流すボタン取付説明書参照)

設定が不要な
施工タイプ
A

施工タイプ
A

試運転をする
裏表紙へ

重要
リモコンには流すボタンが取り付け
いていません。必ず取り付けてください。

設定が必要な
施工タイプ
B



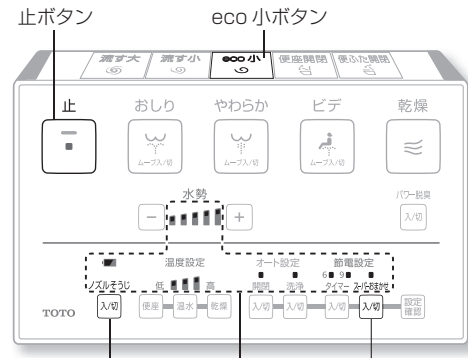
施工タイプ
B

4 eco小 5秒以上押す

本体表示部
<便座>
3回点滅

3 止 10秒以上押す

→リモコンのランプが全点滅します。



ノズルそじボタン すべて点滅

おまかせ節電ボタン
※機種により異なります。

スノー/おまかせ 入切
おまかせ 入切

緑:おまかせ
橙:スノー/おまかせ

機種によっては、本体表示部やボタンのレイアウトなどが異なります。

設定位置を
確認する

5 スノー/おまかせ 入切 (または おまかせ 入切) と ノズルそじ 入切 同時に押す → (電子音が3回鳴ると同時に本体表示部(便座)ランプが3回点滅することを確認する)

電子音とランプの点滅が上記でなかった場合は、設定が正しくできていません。
手順④に戻り、設定しなおしてください。

手順④をくり返すたびにモードが切り替わる

「ピーツ、ピーツ」
表示部が2回点滅
出荷時のモード

「ピーツ、ピーツ、ピーツ」
表示部が3回点滅
このモードに設定する

「ピーツ、ピーツ、ピーツ、ピーツ」
表示部が4回点滅
使用しません

「ピツ」
本体表示部が全ランプ1回点滅
使用しません

6 止 押す → 設定完了

試運転をする
裏表紙へ